

おり、今後は事務的課題、組織づくり等の条件を整え、関係機関、地域とも協議を進め実現に向け努力したい。また、町の土地利用については、392ヘクタールの市街化区域に6種類の用途区域が指定されているが、平成8年4月1日から7種類になる。それぞれの用途に適合した利用方法で、また、無秩序な開発を避けた土地利用に努める。②特産館は依然として経営難が続いており、会社としては非常に苦慮している。役員会では今後の経営再建策について検討しているが、今後会社から特別の要請があれば、応援できる範囲内の支援策を、議会の皆様にご相談しながら、対応を図っていきたい。③現在、未調整の行政制度を事務レベルで調整中であり、調整後早急に任意協議会を開催したい。今後、協議会が順調に進み、予定している住民説明会で町民の皆さんからご理解が得られれば、議会の賛同を賜り、法定協議会の設置にむけ精一杯努力していきたい。スケジューリング的には、遅れているが、建設計画の審議がスムーズに行けば遅れを取り戻せるのではないかと考える。④インターは難しい問題であるが、将来の少子化、高齢化などに備えて取り組まなければならない。山下家具店の補助金について、返還されるかどうかは、ふる

さと村が来る時の買取のことも含めて、それらを含めて解決していると考えられる。⑤現在テナントと交渉中であり、ご理解を。⑥(来年の4月まで)スケジューリングには非常に無理だという事は承知しているが、未調整の25項目がどのように推移するかで、遅れも若干取り戻せるのでは、と期待を持っている。⑦開発は地元、地権者、行政が一体となって取り組めば可能である。インターについては、県議と十分話し合いたい。⑧合併が出来ないと言えども、合併が最大努力をすること、私の責任の一端だということをお話している。ご理解を。⑨これは、精一杯の努力をした結果ということになる。ただ何もやらなかったのなら大きな責任だが、皆さんと一緒に力を合せながら、スケジューリングには難しいが、まだ努力しようという考え方で申し上げている。ご承知を。

木場側の板井の己ノ明34、35ヘクタールをそれに対応する形で、ほ場から抜けて、ほ場整備の計画を進めていたが、パーキングエリア等との関係

があつて場所の変更が検討されているので、それらの推移を見ながら、ほ場整備については地権者と話し合つて先に進めていく。

76万6千円である。④坪単価が高いのは、後世に残せるように腐食に強い木材を使つており、防腐剤も安全な国産のものを使つたため。経費についても県の積算単価に基づく部分もある。ご容赦を。また、工期が延長になったものは、宮の森と29号関係の2件である。⑤県の積算単価がマル秘という事なので、ご理解を。

工期を守らない処置については、次の指名で考える必要がある。また、公募型の入札については、今回の物件が大規模な公共工事なので、指名委員会ですら形にすべきか諮りたい。

町工事で工期を守らなかつた場合は違約金をとるか 契約の中身をよく考慮して決める

D議員 入札制度について ①指定業者の選定は適正に行われているか ②平成7年4月1日に制度改善が行われたが、問題点は生じていないか ③施工実績を考慮していると言いが、下水道工事で、ある舗装業者が受注しているが、この人は下水道の実績があつたのか。また、木場城公園について、坪当たりいくらの工事か ④木場城は木造で外壁もなく、普通の住宅を建てても高くて坪50万ぐらいなのに76万6千円となると高く、おかしいのでは。また、現場代理人が重複しているようだがどうか。工事の中で経費の内訳は。また、木場城以外で工期の延長になったものはあるか ⑤工期を守らなかつた場合、財務規則で違約金を取る事になっているが、宮の森についても守れなかつた場合、違約金を取るか。工事費について、直工、経費の内訳を隠さず言つてほしい。また立仏小学校の工事で公募型の入札を

町におけるごみ処理の現状と問題点は「ごみの適正化処理と再資源化対策を進めたい」

D議員 容器包装のリサイクル法について ①町におけるごみ処理の現状と問題点について ②新法施行に伴う町の対応と経費の負担増はあるか ③小型焼却炉の援助についてはどうか。また、新潟市は来年からのものを先がけて、西地区でやろうとしているが黒崎町も分別収集を6、7種類に分ける考えはあるか。また、広域清掃組合に、町長は議員として参加されているが、大

③今までの段階では、この噂を問題にして取り上げた会議はない。

沿って実施できるような努力したい。小型焼却炉幹旋については、希望地区を選定して、その地区で実施できるか調査して早急に検討に入りたい。

公園を管理する専門の課をつくる考えは 宮の森完成後の国の検査を終えたら考えたい

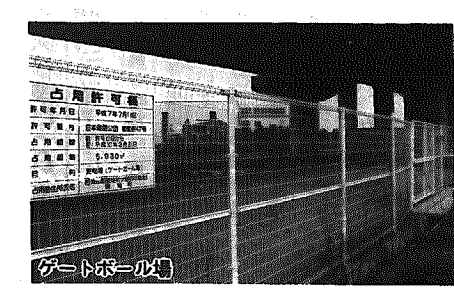
E議員 施政方針について

大規模な式典は総務課が担当してきたと思うが、なぜ農政課が担当するか ③北部の区画整理事業地内には、道路沿いに街路樹があるが、落葉の清掃管理についても自治会にお願いするのか。また、北陸道の高架下にゲートボール場が出来るが、交通量も多い場所なので安全面についてどう考えるか。また、囲いなどなく、冬は寒くて利用者がいないと思うがどうか。利用者に対してマイクロバスで送迎する考えはあるか ④公園を維持管理する専門の課をつくるべきではないか。宮の森の式典について、予算は。過去のものと比較して答えてほしい。

いき黒埼をめぐり、を基本目標として努力する所存。この目標の実現に向け、実施2年目の平成8年度当初予算を、主要施策を盛り込み編成した。主要施策としては、宮の森、木場城公園の完成、黒鳥地区の環境事業で親水公園的な景観づくり、保健センターを核とした実効ある保健事業の推進、くろさき福祉プラン21に基づく在宅福祉の向上、わくわくクラブを開設し、児童福祉の推進、体育事業の円滑推進のため、マイクロバスの購入、町道の整備など、

町内における土地の有効利用についてどう考えるか 各々の用途に合った利用方法で指導していく

E議員 土地利用について ①町内における土地の有効利用について ②平成8年度的一般会計当初予算で、都市計画課は約1600万円を計上されているが、当該年度の主要事業はなにか ③用地の買収費などを引くと実質200万円程度の財源しか残らないがこれで、どのようにプランをたてるのか。また、北場地区23ヘクタールが開発されるようだが、同地区は交通体系の中心地区であり、今後ますます交通主要地区となるが、町としてどう考えるか ④都市計画区域内の用途移行について、平成8年4月より新しい用途地域に変更になるが、土地利用については、市街化区域の拡大と用途地域の見直しを将来的には考えているか。また、リクレーション用地も積極的に確保していくべきでは



はどこになるか。また、11月にこの公園と農村モデル事業の竣工式を両方やるが、今まで

町長 ①3月定例会の冒頭で示したとおり、第4次総に提唱されている黒埼町の将来像である。「緑あふれる文化のまち黒埼」の心のふれあういき

町長 ①現在、市街化区域の面積は392ヘクタールで用途別では住居系が3用途地域で269ヘクタール、商業系が2用途地域で22ヘクタール、準工業地域101ヘクタールで、合計6種類の用途地域が指定されている。また、平成8年4月1日からは